

令和5年8月1日

越谷保育専門学校
校長 美入 昌男

令和5年度 学校関係者評価委員会報告書の公表について

学校関係者評価委員会による、本校の「令和5年度学校関係者評価委員会報告書」を公表します。

なお、本校の学校関係者評価で使用した自己評価報告書の様式は、特定非営利活動法人私立専門学校等評価研究機構が作成した文部科学省ガイドライン準拠版 Ver4.0 を使用しました。

令和5年8月1日

越谷保育専門学校
校長 美入昌男様

越谷保育専門学校
学校関係者評価委員会
委員長 曾野 麻紀

令和5年度 第1回学校関係者評価委員会報告

令和5年度第1回学校関係者評価委員会において実施した「令和4年度自己評価報告書」に対する評価結果について、下記のとおり報告します。

記

1 学校関係者評価委員会委員名簿

委員長：曾野麻紀委員

池田 祥子	社会福祉法人杉の子保育会 評議員
石田 隆博	学校法人石田学園理事長 認定こども園わせた園長
植竹 清文	学校法人植竹学園 理事長
岡 美那子	社会福祉法人 まあれ愛恵会 さいたまたいよう保育園長
曾野 麻紀	十文字学園女子大学 教育人文学部幼児教育学科 准教授
豊田 正一	元埼玉県吉川市立中央中学校長、吉川市教育委員会スクールソーシャルワーカー (当日欠席)
中山 望	埼玉県立越谷東高等学校

(五十音順)

2 学校側事務局

美入 昌男	学校法人ワタナベ学園理事長兼越谷保育専門学校長
渋谷るり子	越谷保育専門学校教務部学科長
古塩 秀明	同 事務長
会田 秀樹	同 参与
東海林 孝	同 教務部学科主任
片村 優美	同 専任教員

3 委員会開催状況

(1)日 時 令和5年6月29日(木) 午前9時15分～午前11時15分

(2)会 場 越谷保育専門学校 201教室

(3)参加委員 出席：上記委員6名 欠席：1名
学校側事務局：6名

4 委員会次第

開会

(1) 校長挨拶

(2) 授業見学

(3) 議長選出

(4) 協議

ア 学校概要の説明

イ 学校関係者評価委員会の進め方の説明

ウ 「令和4年度自己評価報告書」に対する評価の実施

(5) 次回の開催予定

(6) その他

閉会

5 学校関係者評価結果

別紙のとおり

令和5年度越谷保育専門学校 第1回学校関係者評価報告書

令和5年8月1日

1 学校概要の説明

自己紹介や学園・学校のミッションやビジョンについて。詳しくは自己報告書に基づき詳細を説明する。

2 授業見学

科目	(教室)	(授業担当者)
音楽実技演習	(4階401, 2階205 206 教室1A)	横関.永島.羽金.前田
教育相談の理論と方法	(3階301 教室2A)	小沼美和
子どもの文化と言葉	(2階204 教室1B)	山崎英二

3 議長選出

美入校長より曾野委員長に議長をお願いすることとなった。

4 協議**(1) 学校概要の説明**

校長より、学校概要や本校の重点目標について説明

本校は幼稚園教諭2種免許状、保育士資格が取得できる教員養成機関であると同時に、指定保育士養成施設であります。

令和4年度より、幼稚園教諭保育士養成学科の定員を100名から80人とし、1学科となっています。令和5年度の入学生は64名です。

(2) 学校関係者評価の進め方の説明

校長挨拶の後、学校概況報告で、「自己評価報告書」1 学校の理念、2 令和4年度の重点目標と達成計画の報告説明が行われた。3 評価項目別取り組み状況から協議した。校長からは、基準1、2による報告が行われた。

さらに、基準4 学修成果、基準5 学生支援については会田参与から、特に、進路状況の説明が行われた。5-17 中途退学については、校長より説明を

行った。基準6 教育環境は古塩事務長より、基準7 学生の募集と受入れに
関しては、東海林学科主任より説明された。

(3) 「令和4年度自己評価報告書」に対する評価等の実施

- | | |
|---------------------|-----------|
| ア 学校の理念、教育目標 | ・特に指摘事項なし |
| イ 本年度の重点目標と達成計画 | ・特に指摘事項なし |
| ウ 基準1 教育理念・目的・育成人材像 | ・特に指摘事項なし |
| エ 基準2 学校運営 | ・特に指摘事項なし |
| オ 基準3 教育活動 | |

3-9 教育方法・評価等（授業見学の感想等）

(委員) 授業を見に行く間の廊下に、たくさん掲示物があり、いつも楽しみにさせて
いただいております。

(委員) 「子どもの文化と言葉」の授業では、子どもを一番主においた授業の進め
方をされており、自身の授業にも活かせるものばかりだと感じました。

(委員) ピアノの授業ではスマホを置いている学生がいましたが、何に使用され
ているのでしょうか。

(学校) 楽譜が倒れて来ないように抑えたり、楽譜を見たり、ピアノの動画を見
ているかもしれません。メトロノームの代わりにしている学生もいます。最
近ではタブレットで楽譜を見ることができますので、スマホでも可能なの
かもしれません。

(学校) ピアノに関しては、国の方針が変わりました。昔はたくさんの課題曲を
課しており、そこに必死になって付いてくる学生が多かった印象です。それ
が今では、練習時間が足りず、どんどん練習をしないといけないのに弾けな
いという声が増えてきてしまいました。レベルを保つために曲数を多くする
と取りこぼしてしまう学生も増えてしまいます。

習い事としてピアノを経験してきた学生は片手で数える程度です。吹奏楽が
流行していた時期があり、別の楽器をしていたという学生も中にはいます。
楽譜を読める学生は基礎的な力は培われています。何も経験してこなかった
学生が7割以上いますが、毎日コツコツと努力を積み上げていくことが相当
必要になります。

初心者で楽譜が読めずに入学した学生も、空き時間を見つけてピアノを触るなど、毎日ちょっとでも弾くような学生はオープンキャンパスで弾けるほど上達します。

養成校のカリキュラムはピアノの実技単体はカリキュラムから外して、領域として考えられています。しかし、現場はまだピアノを使った保育がされており差を感じます。

(委員) 18歳からピアノを始めるということは相当大変ですよ。保育の現場にピアノは絶対ということではなくても、子どもに色々な歌を幼稚園で歌ってきたり聞いたりというのが失われていくことの危機感がありますよね。音楽の世界でそういったことをどのように捉えているのかなというのは非常に疑問に思っています。

カ 基準4 学修成果

・特に指摘事項なし

キ 基準5 学生支援

5-16 就職等進路【令和5年3月卒業生就職資料】

(学校) 学校要覧の20ページには卒業生数及び進路、21ページには就職先一覧がまとめてあります。別配布の資料もご用意いたしました。2023年の特徴は、幼稚園への就職が増えました。これまでは認定こども園が多かったのですが逆転しました。理由を推察すると、幼稚園の場合は一人で担任ができることがあり、人と話したりコミュニケーションを取ったりするのが苦手な複数担任を避ける傾向があるのかと感じています。学生はコミュニケーションが苦手だと言います。

コミュニケーション能力低下の背景には、コロナウイルスによる人との交流の減少と、SNSの普及があるかと考えられます。SNSでは自分の言いたいことだけを発信し、人の発信したことを自分なりに批判する状況があり、そこに会話はありません。学生達自身はコミュニケーション能力を苦手と捉えており、低下だとは捉えていません。そういった背景が幼稚園への就職希望へ繋がっているのかもしれないと推察しています。

(学校) 今年3月に卒業した学生の就職先訪問をしております。話を聞きながら、励ましたりコミュニケーションを取ったりして進め参ります。上司や組

んだ方とのコミュニケーションのとり方、また勤務時間についての困りごともあります。就職に関して何かコメントがあればお願いします。

(委員) 学生が保育園と認定こども園についてどのように区分けして見ているのか教えてください。傍から見ると認定こども園は保育園と同じように認識されているかと思うのですが。

(学校) ほぼないかと思われま。幼稚園希望者の中の一部が認定こども園を選択しています。本校から認定こども園に進んでいる割合は、幼稚園型が一番多くなっています。幼稚園を選ぶなかで、認定こども園を選んでいる子が多いです。

話し合って決めることや複数担任制のような場所などコミュニケーションが必要な場所は避ける傾向があります。

また、自分のスキルを活かしたい学生、ピアノが得意な学生が幼稚園を選んでいるケースもあります。最近ではピアノ選抜試験を行う園もあり、技術手当として給与に反映されているそうです。新しい取り組みだと思ひます。

ク 基準 6 教育環境

6-22 施設・設備等

(学校) 201,203,204 教室に電子黒板の設置を行いました。こちらに置いてあるものが電子黒板になります。また、401 教室にはメモ台付きチェアを 80 脚購入いたしました。

課題改善方策として、2 階から 4 階の教室の空調設備が老朽化しており、新しく更新する工事を今年度中に実施する予定となっています。

今後の検討事項になりますが、校舎が老朽化しているということで、配管の設備も補修や修理が必要なことが多くなってきました。令和 4 年度中に配管が故障して修理をしている箇所も出てきていますので、点検や修繕を今後も継続して検討していく必要があると考えております。

(委員) 電子黒板は現時点ではパソコンで移ったままディスプレイされているという使い方だけでしょうか。

(学校) 今はまだ Wi-Fi 設備がなく、プロジェクターの代わりという使い方がメインになっています。現在学校では Teams というチャット機能がついたアプリを使用しておりまして、インターネット環境が整えば、手持ちのスマホから直接入力して集計ができたり、動画などの効果的な教材を共有したりす

ることも想定できます。高校生もタブレットを持っている時代になってい
ますので対応を考えていきたいです。

(委員) 令和5年度には市内の小中学校は全てiPadを使って学習しています。生
徒たちはすでに習熟していると感じており、高校もこれから進めていくとい
う流れになっています。

ケ 基準7 学生の募集と受け入れ

7-25 学生募集活動

(学校) 資料請求の数は例年9月以降に極端に減ってきます。今年度は現時点まで
の3ヶ月を見ると低迷しています。例年9月以降は資料請求の数は9月以降
に極端に減るため、7,8月に数字が伸びないと今年度の募集状況は厳しいとこ
ろに向かうと予想できます。

学校説明会、オープンキャンパスに関しては、2021年度はコロナ禍により
実施しておりません。その代わりに個別相談会という形で対応をしており、
毎月3~4回ほど実施していたため数が大きくなっています。昨年からは個別
相談会の数が減っていますが、この背景として、学校説明会やオープンキャン
パスを再開し、1回あたりの参加者数が増えた状況があります。今年度は2
回ほど行っておりますが、昨年度に比べると各回10名ほどの減少が見られて
います。7月8月で参加者が増えていかなければ今後が苦しいこととなりま
す。悲観的な数字となっておりますが、現状はこのような状況です。

(委員) 今年度の項目にある3年生とはどのような意味でしょうか。

(学校) こちらは高校3年生からの資料請求の数です。それ以外は1年生、2年生、
または少数ですが卒業生も入っていると思われれます。

また、こちらの数字は学校のホームページや電話にて直接申し込みのあった
数と、広告代理店を通して保育系の学校すべてに申し込んでいる方を含んで
いますので、この数字全てが、本校が第1希望ということではございません。

(学校) 姉妹校に専門学校がありまして、お互いに情報共有をしていこうと連携を
して新たな取り組みを始めています。

- | | |
|------------------|-----------|
| コ 基準8 財務 | ・特に指摘事項なし |
| サ 基準9 法令等の遵守 | ・特に指摘事項なし |
| シ 基準10 社会貢献・地域貢献 | ・特に指摘事項なし |

5 閉会 協議まことにありがとうございました。競技でのご意見、ご提案、ご提言を今後の学校運営に生かします。次回は11月中旬頃に実施します。